

PRESS RELEASE

2022年1月11日
スマートスキャン株式会社
メディカルチェックスタジオ

メディカルチェックスタジオでの「スマート脳ドック」検査数が6万件突破 約7割が脳ドック初受診。

働き盛りの30～40歳代で、認知機能の低下と脳梗塞のリスクとなる大脳白質病変も。

スマートスキャン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：濱野斗百礼、以下、スマートスキャン）と医療法人社団ウエルプリベンションが運営する「メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック（以下、MCS 東京銀座）」および「メディカルチェックスタジオ新宿クリニック（以下、MCS 新宿）」、社会医療法人ささき会が運営する「メディカルチェックスタジオ大阪梅田クリニック（以下、MCS 大阪梅田）」は、2018年に提供を開始した「スマート脳ドック」の検査数が、4年間でのべ約6万件を突破したことをご報告いたします。



**メディカルチェックスタジオでの
「スマート脳ドック」検査数が
6万件を突破！**

メディカルチェックスタジオ（以下、MCS）は画像診断にフォーカスし、MRIで頭部を撮影することで脳の異常を早期に発見できる検査である「スマート脳ドック」を提供しています。「スマート脳ドック」は、受付からお帰りまで30分、検査費用は17,500円（税別）、撮影した画像は専門医2名によるダブルチェックを実施している脳の検査です。

スマートスキャンとMCSは、今後も引き続き“早い・リーズナブル・正確”な「スマート脳ドック」等の提供を通じ、気軽に健診が受けられる環境づくりに努めます。また、蓄積されたデータを活用し、疾病の発症予測モデルの構築や適切な治療へと役立てる研究・分析等をすすめ、多くの人の健康に貢献できるよう努力してまいります。

MCS における「スマート脳ドック」受診者データの概要について、お知らせいたします。

【データ概要】

- ・対象 : 2018年1月～2021年12月20日にMCSで実施された検査
- ・データ数 : 60,843件
- ・分析 : スマートスキャン、MCS

＜受診者データ概要＞

40歳代では約25%、50歳代では半数近くに認知機能の低下と脳梗塞のリスクにつながる大脳白質病変を確認。将来のクオリティオブライフの向上のためには「脳ドック」が重要。

30歳代では約15%、40歳代では約25%、50歳代では半数近くにGrade1以上の大脳白質病変が認められました。

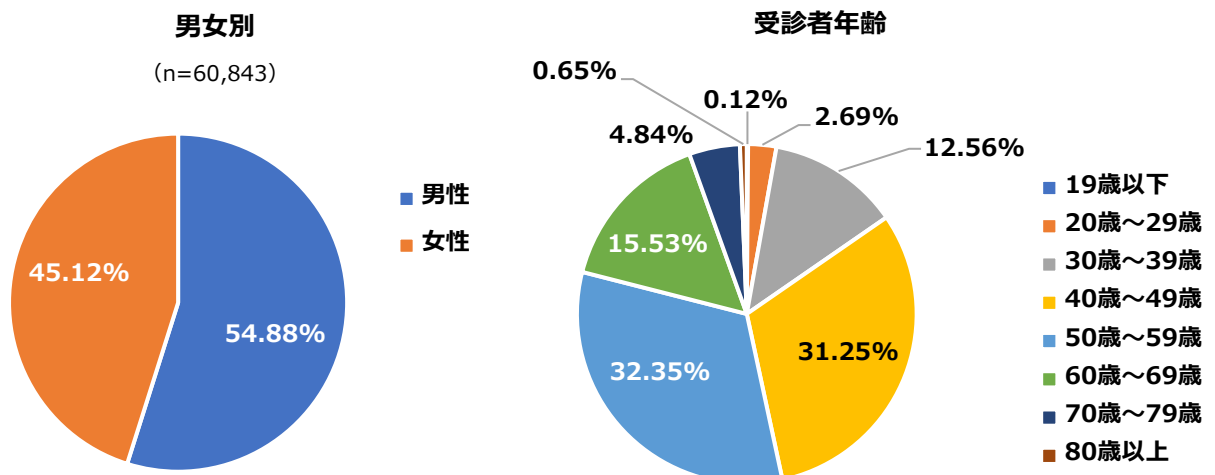
脳の血流が悪くなることで生じる大脳白質病変は、脳梗塞や認知症の危険因子であるといわれています。病変がない「Grade0」から最も重度の「Grade4」までの5段階で評価します。大脳白質病変は年齢を重ねる事でも現れる可能性がある一方で、無治療やコントロール不良の高血圧があると若年でも出現し増悪します。大半は無症状のまま進行するため、生活の中では認知しにくく、一度病変が出現すると改善することはないといわれています。

大脳白質病変は、通常健康診断や脳CT検査では見つけることができず、MRI検査により発見することができます。そのため、早期発見には「脳ドック」により定期的に脳の状態を確認することが重要です。病態が進行してからの予防は困難です。病変を早期に発見し、ライフスタイル（運動不足・睡眠不足・肥満など）の改善や生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病など）の治療などを通して病変の進行を止めることが、将来的な脳梗塞や認知機能低下の予防、そして、クオリティオブライフの向上につながります。

■【受診者属性】

「スマート脳ドック」受診者の約半数は30歳代～40歳代

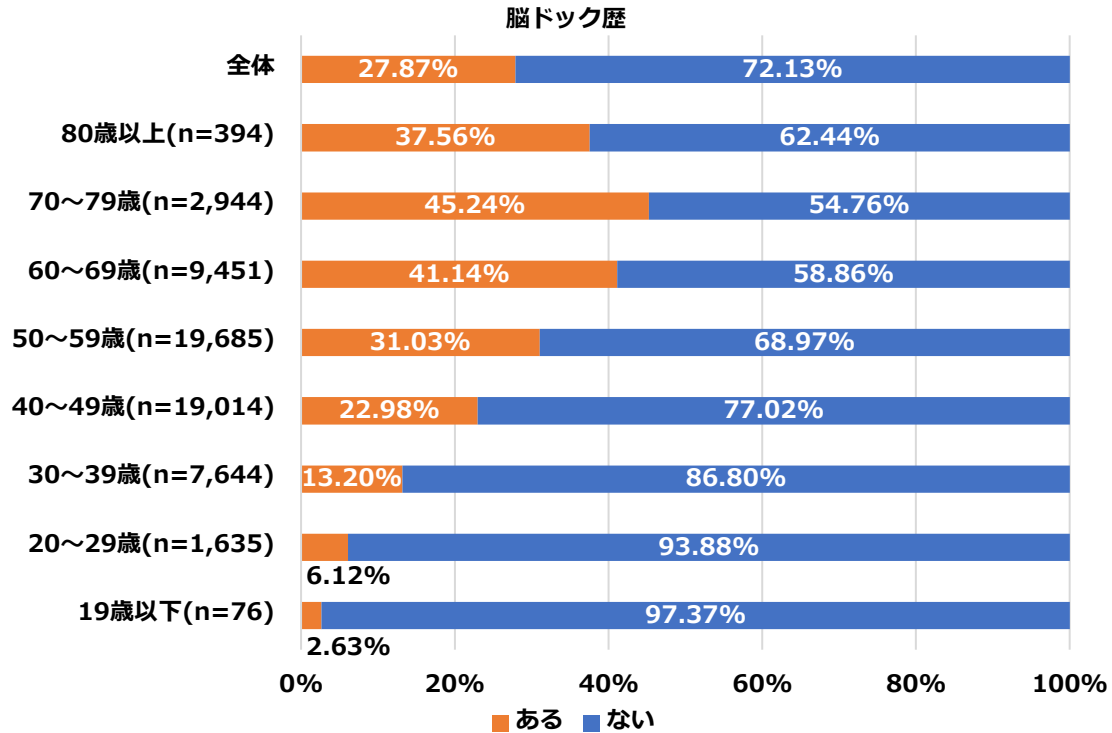
受診者の男女比はほぼ1:1と、大きな差はありません。年齢別にみると、働き盛りである30歳代（12.56%）と40歳代（31.25%）が多く受診しています。



■【脳ドック歴】

全体の約 7 割が脳ドック初受診

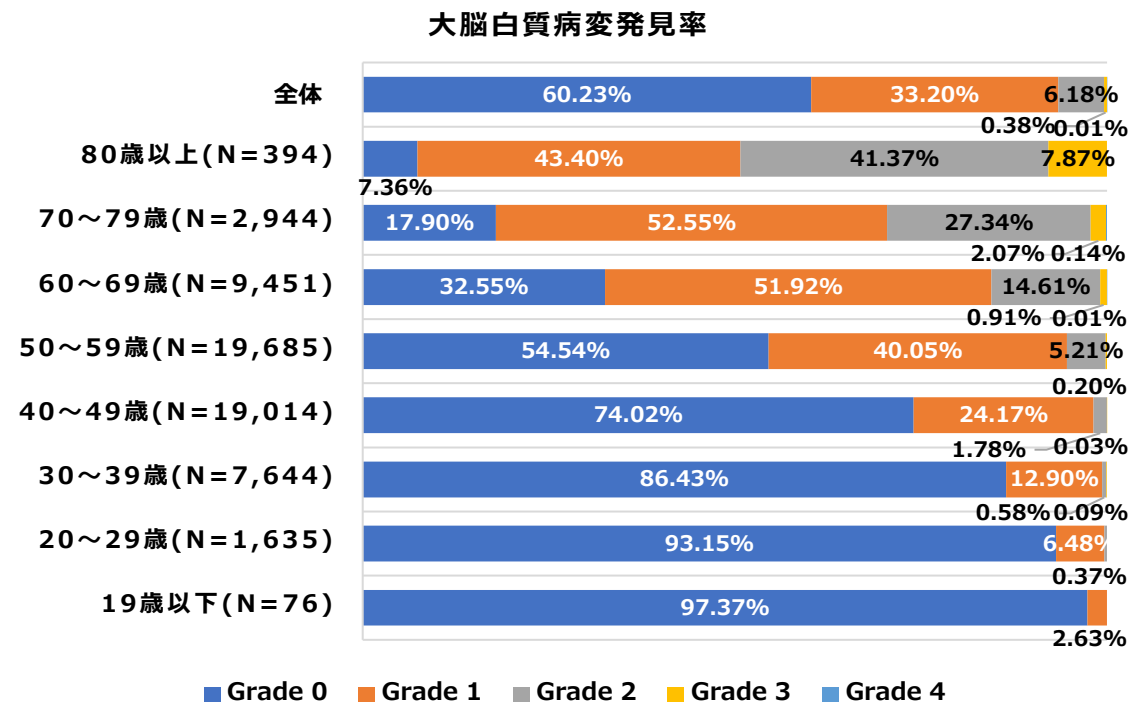
全体の約 72%は、これまでに脳ドックを受けたことがなく初受診でした。世代別にみると 60 歳代の約 59%、70 歳代の約 55%である一方、働き盛りの年代である 30 歳代は約 87%、40 歳代は約 77%と、世代により受診歴には大きな差がありました。



■【大脳白質病変発見率】

50 歳代の二人に一人の割合で大脳白質病変がみられる

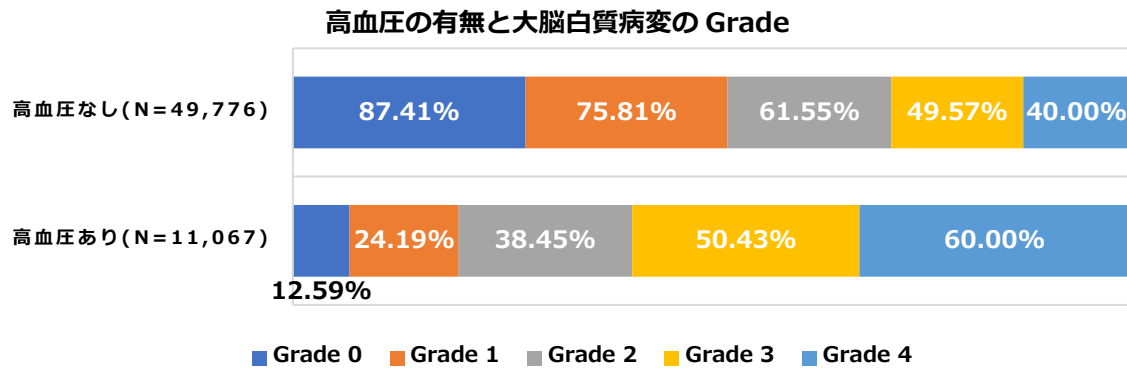
認知機能の低下と脳梗塞のリスクとなる大脳白質病変の割合は、30 歳代で約 15%、40 歳代で約 25%、50 歳代で約 45%に Grade1 以上の大脳白質病変がみられました。



■【高血圧の有無と大脳白質病変の Grade】

高血圧があると答えた受診者のほうが、大脳白質病変の Grade が高い傾向

高血圧の有無（*1）別に大脳白質病変の Grade の割合を見ると、高血圧があると答えた受診者に Grade3 以上の異常の割合が大きい傾向がありました。（*1：受診時の問診による自己申告）



■早く、手ごろな価格で、正確な脳ドックが受けられる「スマート脳ドック」について

「スマート脳ドック」は、脳動脈瘤や脳梗塞、脳腫瘍などの自覚症状のない脳の異常を早期発見できる頭部 MRI および頭部・頸部 MRA の検査です。WEB での予約と問診票の事前登録、受診結果をパソコンやスマートフォンで確認できるため、クリニック滞在時間を短縮し受付からお帰りまで 30 分。撮像されたデータは 2 名の専門医師がチェックしています。

万が一異常が確認された際も、結果に応じ専門の医療機関をご紹介。スピーディーな検査と継続しやすい価格で、これまでにのべ約 6 万 4 千件の検査を実施しています（2018 年 1 月～2021 年 12 月実績）。

■スマートスキャン株式会社について

「病気にならない世界」の実現に向け、誰もが気軽に受診できる画像診断の環境づくりをすすめています。「スマート脳ドック」サービスをはじめとする事業を通じ、多くの人が健康に暮らせる時間の創出に貢献していきます。

【スマートスキャン株式会社概要】

- ・社名：スマートスキャン株式会社
- ・設立 2017 年 2 月
- ・所在地：東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 2 階
- ・代表取締役：濱野斗百礼
- ・事業概要：ウェルネスデータプラットフォームの構築、医業関連施設のプロデュースおよびテクノロジーの提供、パーソナルヘルスケアレコード（PHR）の収集・解析
- ・URL：<https://smartsan.co.jp/>

■「メディカルチェックスタジオ」について

メディカルチェックスタジオは、スマートスキャン株式会社のプロデュースにより、多忙な方にも手軽にご利用いただけるよう「IT×予防医学×検査」をコンセプトに、PC やスマートフォンで予約から検査結果の確認を簡単に行える「スマート脳ドック」および「CT 肺・心血管ドック」を提供しているクリニックです。

【メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック】

- ・所在地：東京都中央区銀座 1 丁目 2-4 サクセス銀座ファーストビル 2F
- ・開院日：2018 年 1 月
- ・院長：知久 正明
- ・URL：<https://medicalcheckstudio.jp/about/ginza>

【メディカルチェックスタジオ新宿クリニック】

- ・所在地：東京都新宿区新宿 3-5-6 キュープラザ新宿三丁目 2F
- ・開院日：2021 年 4 月
- ・院長：久保田 叔宏
- ・URL：<https://medicalcheckstudio.jp/about/shinjuku>

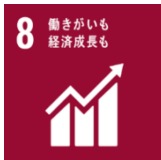
【メディカルチェックスタジオ大阪梅田クリニック】

- ・所在地：大阪府大阪市北区梅田 1-12-6E-ma1 階
- ・開院日：2021 年 5 月
- ・院長：鳴海 治
- ・URL：<https://medicalcheckstudio.jp/about/umeda>

スマートスキャンは SDGs を推進しています。



「病気がない世界を作る」を企業理念に、「スマート脳ドック」サービスをはじめとする事業を展開。これにより、疾患の早期発見と治療を可能にし、人々の健康に対する意識向上と予防医療に寄与していく。



企業の持続的な成長と利益の実現のために、従業員の生産性や帰属意識向上のために健康を第一に考え、働きがいと企業の成長に寄与する。
また、すべての人が受けやすい健診環境を整える事業を展開し、社会全体の活性化を目指す。

■本件に関するお問い合わせ先

スマートスキャン株式会社 広報担当 e-mail : press@smartscan.co.jp

※「スマート脳ドック」体験希望の報道関係者の方はお知らせください。